

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成18年3月23日(2006.3.23)

【公表番号】特表2005-529910(P2005-529910A)

【公表日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2005-039

【出願番号】特願2004-501425(P2004-501425)

【国際特許分類】

C 07 H 15/18 (2006.01)

C 07 D 309/14 (2006.01)

C 07 H 1/00 (2006.01)

C 07 H 15/26 (2006.01)

C 07 H 17/04 (2006.01)

【F I】

C 07 H 15/18

C 07 D 309/14

C 07 H 1/00

C 07 H 15/26 Z C C

C 07 H 17/04 C S P

【誤訳訂正書】

【提出日】平成18年2月6日(2006.2.6)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項1】

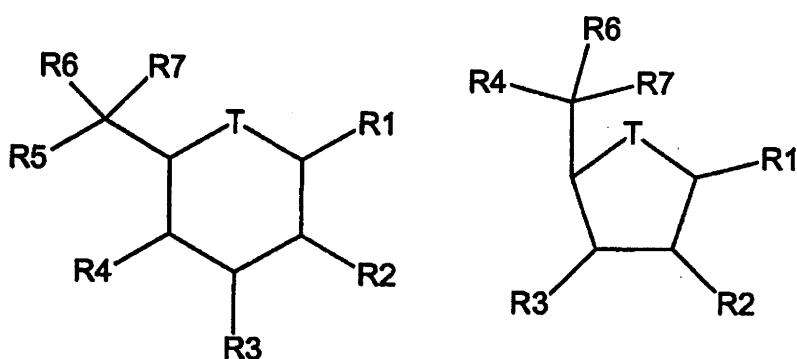
式I

A - d - L - e - B

式I

[ここで、AおよびBは、独立して以下より選択され

【化1】

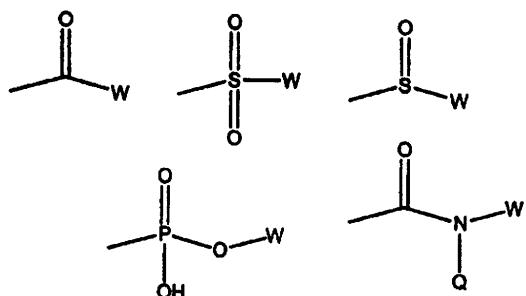


Tは、Oであり；

R6およびR7は、水素であるか、または一緒にカルボニル酸素を形成し；

R1は、水素、-N(Z)Y、-C(Z)Y、OZまたはSZであり、ここで；

R 1 が - N (Z) Y である場合 ;
Y は、水素または以下からなる群より選択され ;
【化 2】



ここで、

Z は、水素または X 1 より選択され、

Q は、水素または W より選択され、

W は、1 ~ 20 非水素原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキルまたはヘテロアリールアルキルからなる群より選択され；

X 1 は、1 ~ 20 非水素原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アシル、アリールアシル、ヘテロアリールアシル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキルまたはヘテロアリールアルキルからなる群より選択され、

R 1 が - C (Z) Y である場合 :

Y は、なし (absent) であるか、水素、カルボニルを形成する二重結合の酸素 (= O) 、またはニトリルを形成する三重結合の窒素から選択され、

Z は、なしであるか、または水素もしくは X 2 より選択され、

ここで、X 2 は、1 ~ 20 非水素原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アミノアルキル、アミノアリール、アリールオキシ、アルコキシ、ヘテロアリールオキシ、アミノアリール、アミノヘテロアリール、チオアルキル、チオアリール、もしくはチオヘテロアリール、アシル、アリールアシル、ヘテロアリールアシル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキルまたはヘテロアリールアルキルからなる群より選択され、

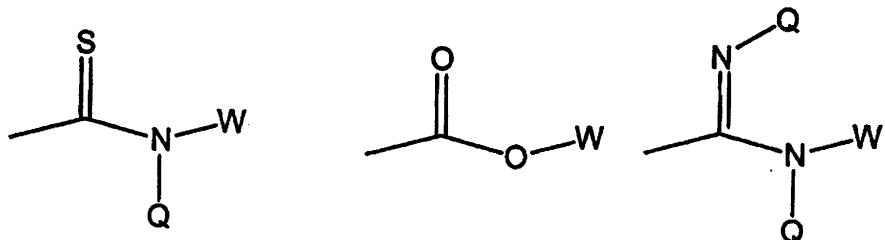
R 1 が OZ または SZ である場合、

Z は、水素または X 3 より選択され、

ここで、X 3 は、1 ~ 20 非水素原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アシル、アリールアシル、ヘテロアリールアシル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキルまたはヘテロアリールアルキルからなる群より選択され、

R 2 、 R 3 、 R 4 および R 5 基は、水素、N₃、OH、OX4、N (Z) Y からなる群より選択され、ここで、N (Z) Y は、上に定義される通りであるか、または Y は、

【化 3】



であり、

ここで、Q および W は、上に定義される通りであり、

そして、X 4 は、独立して、1 ~ 20 非水素原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アミノアルキル、アミノアリール、アリールオキシ、アルコキシ、ヘテ

ロアリールオキシ、アミノアリール、アミノヘテロアリール、アルキルカルバモイル、アリールカルバモイル、もしくはヘテロアリールカルバモイル、アシル、アリールアシル、ヘテロアリールアシル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキルまたはヘテロアリールアルキルからなる群より選択され、

d および e は、A および B についての結合点を示し、A および B 基の各々における R 1 、 R 2 、 R 3 、 R 4 または R 5 基の 1 つを置換し、リンカーレットについての結合点を形成し、

d は共有結合であり、e は -O- であり、L は、なしである、

ただし、

a) いずれの環上の R 1 ~ R 5 基のいずれも一緒に結合して環を形成しなくてよく、

b) 基が OX 4 である場合、 X 4 は、炭水化物合成において一般的に使用される、アセチル、クロロアセチル、ジクロロアセチル、トリクロロアセチル、トリフルオロアセチル、ベンゾイル、ピバロイル、またはレブリノイル保護基でなくてよく、

c) X 4 は、別の炭水化物環、シクリトール環でなくてよく、或いは別の炭水化物環を含んでもよく、

d) 各環上の R 2 ~ R 5 の少なくとも 1 つは、 OX 4 または N (Z) Y でなければならず、

e) 全ての X 4 置換基は、同じでなくともよく、

f) 両方の環上の R 2 が N (Z) Y である場合、 R 1 は O- アリルでなくてよく、そして

g) 式 I の化合物は、 OX 4 または N (Z) Y より選択される少なくとも 2 つのそして 7 を超えない置換基を含まなければならない】

の二糖化合物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0015

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0015】

Z は、水素または X 1 より選択され；

Q は、水素または W より選択され；

Z および Y 基は、組み合わせられて、4 ~ 10 原子の単環式または二環式環構造を形成し得る。この環構造は、 X 1 基でさらに置換され得る；

W 基は、必要に応じて置換された、分枝状および/または直鎖状の、1 ~ 20 原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキルまたはヘテロアリールアルキルより独立して選択される。代表的な置換基としては、 OH 、 NO 、 NO₂ 、 NH₂ 、 N₃ 、ハロゲン、 CF₃ 、 CHF₂ 、 CH₂F 、ニトリル、アルコキシ、アリールオキシ、アミジン、グアニジニウム、カルボン酸、カルボン酸エステル、カルボン酸アミド、アリール、シクロアルキル、ヘテロアルキル、ヘテロアリール、アミノアルキル、アミノジアルキル、アミノトリアルキル、アミノアシル、カルボニル、置換または非置換のイミン、サルフェート、スルホンアミド、ホスフェート、ホスホルアミド、ヒドラジド、ヒドロキサメート、ヒドロキサム酸が挙げられるがこれらに限定されない；

X 1 基は、独立して、必要に応じて置換された、分枝状および/または直鎖状の、1 ~ 20 原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アシル、アリールアシル、ヘテロアリールアシル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキルまたはヘテロアリールアルキルより選択される。代表的な置換基としては、 OH 、 NO 、 NO₂ 、 NH₂ 、 N₃ 、ハロゲン、 CF₃ 、 CHF₂ 、 CH₂F 、ニトリル、アルコキシ、アリールオキシ、アミジン、グアニジニウム、カルボン酸、カルボン酸エステル、カルボン酸アミド、アリール、シクロアルキル、ヘテロアルキル、ヘテロアリール、アミノアルキル、アミノジアルキル、アミノトリアルキル、アミノアシル、カルボニル、置換または非置換のイミン、サルフェート、スルホンアミド、ホスフェート、ホスホルアミド、ヒドラジド、ヒドロキサメート、ヒドロキサム酸が挙げられるがこれらに限定されない；

ルキル、アミノトリアルキル、アミノアシル、カルボニル、置換または非置換のイミン、サルフェート、スルホンアミド、ホスフェート、ホスホルアミド、ヒドラジド、ヒドロキサメート、ヒドロキサム酸が挙げられるがこれらに限定されない；

R₁が-C(Z)Yである場合：

Yは、存在する場合、水素、カルボニルを形成する二重結合の酸素(=O)、またはニトリルを形成する三重結合の窒素より選択され、

Zは、必要に応じてなしであり得、または水素もしくはX₂より選択され、ここで、X₂は、独立して、必要に応じて置換された、分枝状および/または直鎖状の、1~20原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アミノアルキル、アミノアリール、アリールオキシ、アルコキシ、ヘテロアリールオキシ、アミノアリール、アミノヘテロアリール、チオアルキル、チオアリール、もしくはチオヘテロアリール、アシル、アリールアシル、ヘテロアリールアシル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキルおよびヘテロアリールアルキルより選択される。代表的な置換基としては、必要に応じて更に置換され得る、OH、NO、NO₂、NH₂、N₃、ハロゲン、CF₃、CHF₂、CH₂F、ニトリル、アルコキシ、アリールオキシ、アミジン、グアニジニウム、カルボン酸、カルボン酸エステル、カルボン酸アミド、アリール、シクロアルキル、ヘテロアルキル、ヘテロアリール、アミノアルキル、アミノジアルキル、アミノトリアルキル、アミノアシル、カルボニル、置換または非置換のイミン、サルフェート、スルホンアミド、ホスフェート、ホスホルアミド、ヒドラジド、ヒドロキサメート、ヒドロキサム酸、ヘテロアリールオキシ、アミノアルキル、アミノアリール、アミノヘテロアリール、チオアルキル、チオアリールまたはチオヘテロアリールが挙げられるがこれらに限定されない；

Z基およびY基は、組み合わされて、4~10原子の単環式または二環式環構造を形成し得る。この環構造は、X₁基でさらに置換され得る；

R₁がOZまたはSZである場合、

Zは、水素またはX₃より選択され、

ここで、X₃は、独立して、必要に応じて置換された、分枝状および/または直鎖状の、1~20原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アシル、アリールアシル、ヘテロアリールアシル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキルまたはヘテロアリールアルキルより選択される。代表的な置換基としては、必要に応じて更に置換され得る、OH、NO、NO₂、NH₂、N₃、ハロゲン、CF₃、CHF₂、CH₂F、ニトリル、アルコキシ、アリールオキシ、アミジン、グアニジニウム、カルボン酸、カルボン酸エステル、カルボン酸アミド、アリール、シクロアルキル、ヘテロアルキル、ヘテロアリール、アミノアルキル、アミノジアルキル、アミノトリアルキル、アミノアシル、カルボニル、置換または非置換のイミン、サルフェート、スルホンアミド、ホスフェート、ホスホルアミド、ヒドラジド、ヒドロキサメート、ヒドロキサム酸、ヘテロアリールオキシ、アミノアルキル、アミノアリール、アミノヘテロアリール、チオアルキル、チオアリールまたはチオヘテロアリールが挙げられるがこれらに限定されない；

R₂、R₃、R₄およびR₅基は、独立して、水素、N₃、OH、OX₄、N(Z)Yからなる群より選択され、ここで、N(Z)Yは、上に定義される通りであるか、またはさらにYは、